

こんな冷たい市政でいいのでしょうか

希望ある あたたかい市政へ

今こそ 転換

子育て・くらしの願いに背をむける

全員制のあたたかい 中学校給食

京都市
「他に優先課題があるから」と冷たく拒否

●中学校給食利用率
全国平均 **85.3%** 府内で計画すらないのは
亀岡市と京都市のみ

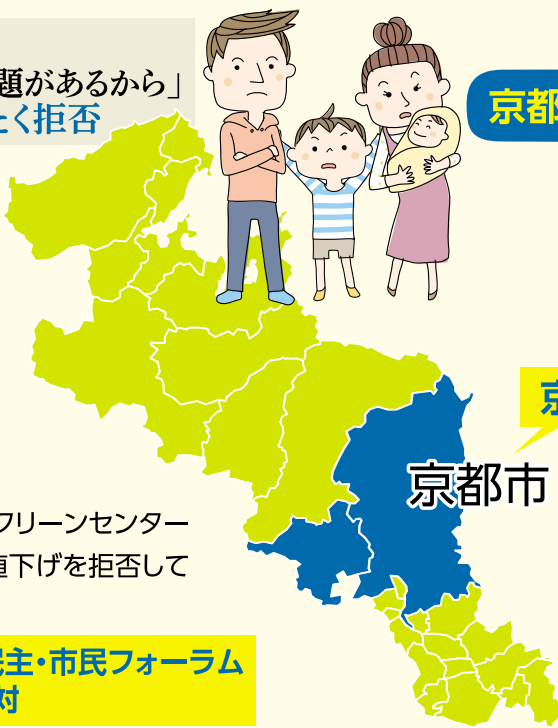
■ 全員制の給食を実施、または着手、計画中
■ 計画すらない

ごみ袋

●有料指定袋は、毎年約10億円以上の「黒字」。南部クリーンセンターの展望台建設などに流用する一方で、ごみ袋代の値下げを拒否しています。

●「ごみ袋代値下げ請願」**自民党、公明党、民主・市民フォーラム**
8団体・4919人の署名 **京都党、維新が反対**

「消費税増税に対する反対表明」請願(642件京都市会最高件数)も反対



保育所待機児童

京都市はゼロ(国基準)と言うけれど…

現実には毎年500人以上の待機児童
(申し込んでも入れない)

子ども医療費助成

京都市が府内で最も遅れた状況

府の制度に上乗せしていない
自治体は京都市のみ

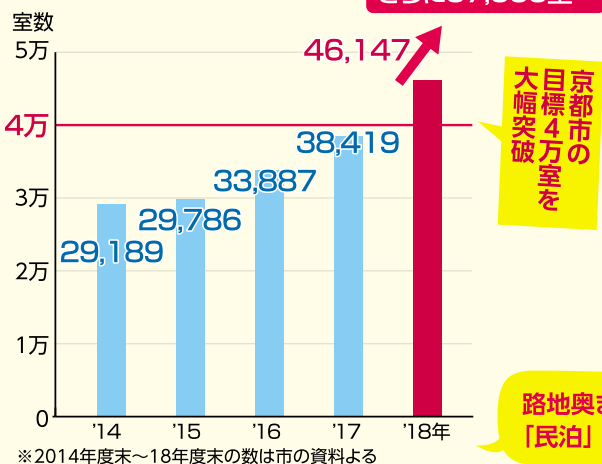
少人数学級

現市長になって一度も改善なし

京都が京都でなくなる

これ以上ホテル・簡易宿所はいらない

京都市内の宿泊施設の客室数



京都市の「宿泊施設拡充・誘致方針」のもと、ホテル・簡易宿所や観光客の急増で、「オーバーツーリズム」「観光公害」と呼ばれるような、景観や街並みの破壊、住環境への深刻な影響が広がっています。観光客は増加していますが、地元の経済・中小零細業者の活性化にはつながっていません。

路地奥まで「民泊」!

安心して暮らせない

落ち込む京都経済

観光客が増えても

「ゆるやかな回復基調」と言うけれど…

●事業所の減少率
(2009年を基準にした2016年の減少率)

政令市ワースト2位
(総務省・経済センサスより)

●非正規雇用率
政令市ワースト1位
(2017年 総務省・就業構造基本調査より)

自治体本来の役割投げすて

区役所職員削減で市民生活に重大な影響

●災害対応は
●昨年の、相次ぐ災害にも、避難所に**市職員の配置はなし**。他の政令市では5市が職員の配置を行っています。京都市は地元まかせで、地元の負担は大変です。

●7月、**委託料2億円も払って**「証明郵送サービスセンター」に、郵便発送作業を民間委託しました。その結果、直営で行っていた時には翌日には発送されていた証明書が、「最大3週間、**1420件もの発送遅れ**」が発生しました。

●2020年4月には、介護認定給付嘱託職員**130人**を雇い止めし、**1か所に集約して民間委託**しようとしています。認定業務の混乱は必至です。公的責任の放棄です。

市民の運動で 敬老乗車証の改悪許さず!

乗る度に運賃の一部を負担させる改悪案を発表してから6年。15次にわたる署名提出(4万5千筆)など、市民の世論と運動で改悪を許していません。

